

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## グリー株式会社（証券コード:3632）

### 【新規】

長期発行体格付  
格付の見通し

BBB+  
安定的

### ■格付事由

- (1) ゲーム事業を主力に展開するインターネットメディア事業者。ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）の「GREE」を創業事業とし、現在はスマートフォン向けアプリゲームの開発・運営に軸足を移す。エンジン×IP×グローバル戦略を推進し、競争力あるIPの魅力を高めながらグローバル市場を開拓している。そのほか、パーティカルメディアの運営を行う広告・メディア事業やバーチャルライブ配信アプリの運営を行うメタバース事業、ベンチャーキャピタルおよびスタートアップへの投資を行う投資・インキュベーション事業を手掛ける。ゲーム事業を全社の収益基盤として継続成長させ、広告・メディア事業およびメタバース事業の規模拡大でさらなる成長を図る方針である。
- (2) 当面、安定的なキャッシュフローを確保できると考える。主力のアプリゲームの競争は激しいが、主要タイトルは長期間にわたって一定の収益力を保っている。運営ノウハウが蓄積されており、継続的なアップデートや配信エリアの拡大を通じて、ユーザーベースを活性化させることが可能となっている。また、新規タイトルの投入も継続的に行っており、収入の積み上げが期待できる。さらに、広告・メディア事業も収益貢献が見込める段階に入ってきている。一方、メタバース事業は先行投資を実施する方針であり、中長期的な視点で投資回収状況を確認していく。財務面については極めて健全であり、格付を支える重要な要素である。以上より、格付を「BBB+」、見通しを安定的とした。
- (3) アプリゲームのRPG領域を中心に一定の事業基盤を構築している。アプリゲームは運営タイトルが主流であり、収入にはある程度の継続性が認められる。ただし、ユーザーの可処分時間の奪い合いは激しく、経年数とともに競争力を保つ難易度は上がる。長期的な視点に立った運営が求められるほか、新規タイトルの投入が欠かせない。こうした中、当社はエンジンの高度化や運営体制の強化、海外販売体制の整備を進め、主要タイトルの収益力を維持してきた。また、複数の新規タイトルを定期的に投入できる体制を構築している。多様なIP群をバランス良く活用することで、ヒットの確度や収益性の向上を図っている。
- (4) 近年、業績は減収減益傾向にあったが、かつての主力事業であったウェブゲームの縮小が主因である。足元ではウェブゲームの売り上げが一定規模で推移する中で、注力するアプリゲームが着実に伸長し、業績は上向きつつある。21/6期は売上高567億円（前期比9.4%減）、営業利益53億円（同70.1%増）となった。22/6期以降は、メタバース事業のプロモーション費用が負担となるが、「アサルトリリィ Last Bullet」の通期寄与や新規タイトルの投入によるゲーム事業の成長に加え、広告・メディア事業の貢献が見込まれ、底堅い業績を確保できるとJCRは想定している。
- (5) 21年6月末の自己資本は1,196億円、自己資本比率は84.6%、潤沢な手元流動性を有し、実質無借金など、財務基盤は極めて強固である。足元、上限120億円の自己株式取得を進めているが、財務基盤への影響は限定的である。事業特性や投資方針を踏まえれば、多額の資金需要が発生する懸念は小さく、堅調な業績を背景に現状程度の財務内容を維持できると考える。

（担当）本西 明久・安部 将希

## ■ 格付対象

発行体：グリーン株式会社

### 【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2021年8月17日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：本西 明久
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
- 格付関係者：  
(発行体・債務者等) グリーン株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果の確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル